

第39回 皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 徳島県大会 実施要項

1. 趣旨 一般社団法人徳島県サッカー協会は、徳島県内における女子のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学1年生以上の登録選手を対象とした国内で最も権威のある単独チームの大会として実施する。

2. 主催 一般社団法人徳島県サッカー協会

3. 主管 一般社団法人徳島県サッカー協会 女子委員会

4. 日程

開催日及び会場：

2017年 6月 24日（土）鳴門渦潮高校、

7月 1日（土）徳島市陸上競技場

7月 2日（日）徳島市陸上競技場

組合せ：参加チームにおいて後日抽選を行い決定する。

代表者会議：抽選時に行う。

開会式：実施しない。

5. 参加資格

(1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下「本協会」という)に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。また、活動の拠点を徳島県内に有していること。

(2) 2005年（平成17年）4月1日以前に生まれた女子選手であり、2017年6月20日（火）までに本協会に登録（追加登録も含む）されていること。

小学生は出場できない。また、中学生以下の選手だけの大会参加申込は不可とする。

(3) クラブ申請制度の適用：本協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームから移籍すること無く、上記(1)のチームで参加することができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。

なお、選手は、上記(2)を満たしていること。選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。

但し、本大会の予選を通して、選手は他のチームで参加(参加申込)していないこと。

(4) 外国籍選手：5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。

(5) 移籍選手：本大会の予選を通して、選手は他のチームで参加(参加申込)していないこと。

6. 大会形式 ノックアウト方式(3位決定戦は行わない)

7. 競技規則 大会実施年度の(財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。

(1) 競技者の数

① 競技者の数：11名

② 交代要員の数：7名以内

- ③ 交代を行うことができる数:3 名以内
- ④ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:3 名以内

(2) 役員の数

テクニカルエリアに入ることができる役員の数:6 名以内

(3) テクニカルエリア:設置する

(4) 競技者の用具

① ユニフォーム

a. (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいた、ユニフォームを使用しなければならない。ただし、2016年4月1日施行の規定で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規定による運用を許容する。

第5条[ユニフォームへの表示]※該当のみ抜粋

- ・GKグローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
- ・両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅(10cmから8cmに変更)
- ・同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク距離

b. J クラブ傘下のチームについては、公益財団法人日本プロサッカーリーグ(J リーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。また、一般社団法人日本女子サッカーリーグ加盟チーム又はその傘下のチームについては、日本女子サッカーリーグのユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。この際、シャツの色彩が、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備出来る場合のみ使用を認められる。

c. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。(公財)日本サッカー協会登録されたものを原則とする。

d. シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。

e. ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

f. ユニフォームへの広告表示については本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。

g. ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。

(5) 試合時間

① 試合時間は80 分(前後半各40 分)とする。ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):原則10 分間

② 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)

□1 回戦～準決勝:PK方式により勝者を決定する。

□決勝: 20 分(前・後半 10 分)の延長戦を行う。

勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。

□延長戦に入る前のインターバル：5 分間

□PK方式に入る前のインターバル：1 分間

③ アディショナルタイムの表示：行う

(6) マッチコーディネーションミーティング：実施しない

(7) その他

① 第4 の審判員の任命：行う

② 負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2 名ピッチへの入場を許可される

8. 懲 罰

(1) 本大会の予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。

(2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

(3) 大会規律委員会の委員長は女子委員会委員長とし、委員については委員長が決定する。

(4) 本大会期間中に警告を2 回受けた選手は、次の1 試合に出場できない。

(5) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

(6) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

9. 大会参加申込

(1) 1 チームあたり36 名(役員6 名、選手30 名)を最大とする。参加申込した最大30 名の選手の中から、各試合メンバー用紙提出時に選手最大18名を選出する。

(2) 申込期限：2017 年 5月 25日(木) 15:00までに メールにて申し込み

(3) 申込先 (一社)徳島県サッカー協会 女子委員長 幸内 富夫 申込先は金子
アドレス kaneko@tks.bunri-u.ac.jp 携帯番号 09088710304

(4) 参加申込締切以降、選手の変更は原則認めない。ただし役員の変更は可能とする。

10. 参 加 料: 20,000円 (抽選時に徴収します)(参加チーム数により変動あり)

11. 選 手 証

各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証(写真を貼付したもの)を持参すること。

ただし電子登録証(写真が登録されたもの)が確認できる場合は出場を認めるものとする。

本協会登録および本大会に参加申込を完了した選手のみが試合に出場する権利を有する。

12. 表 彰

(1) 優勝・準優勝チームに表彰状、授与する。

優勝チームには2017年9月2日(土) 9日(土) 10(日)に徳島県で行われる本大会四国予選に参加する権利と義務を有する。

13. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

大会会場において疾病・傷害が発生した場合、大会主催側は原則として応急処置のみを行うもの

とする。

14. その他

- (1) 大会要項に規定されていない事項については女子大会部会において協議の上決定する。
- (2) 大会場及びグラウンドの設営・撤収については、各参加チームにて行う。
- (3) ピッチ内練習は試合開始の20分前の10分間とする。
- (4) メンバー表は試合開始の30分前までに提出すること。
- (5) 熱中症対策について：各チームにおいて 体冷要氷 経口補水液 スポーツドリンク等 必要のものを準備すること。
- (6)個人・グループの写真を掲載させて頂く場合があります。個人情報保護に努め、「徳島サッカー年鑑」以外には使用致しませんので、ご了解の程お願い致します。**

問い合わせ先

徳島文理大学 金子 憲一 09088710304 kaneko@tks.bunri-u.ac.jp

以上_